

# 「紀州あかね」の特性と栽培のポイント

和歌山県果樹試験場かき・もも研究所

## (1) 育成経過

- ・2008年に♀「早秋」に♂「太秋」を交配
- ・2021年5月品種登録出願
- ・2021年9月出願公表

## (2) 収穫期および果実品質

- ・収穫は10月中旬頃から可能（「紀州てまり」に比べ着色がやや早い）
- ・果形がやや歪で「早秋」に近く、果肉に褐斑が入る（写真1）
- ・糖度は17%前後
- ・へたすき発生は少ないが軽微な果頂裂果を生じる場合がある



写真1. 「紀州あかね」の果実



写真2. 「紀州あかね」の結実状況

表1. 「紀州あかね」および「紀州てまり」の果実品質

年次	試験区	調査日	果実重 (g)	カラーチャート		糖度 (%)	生理障害				
				果頂部	赤道部		果頂裂果 <sup>z</sup>	条紋 <sup>y</sup>	へたすき <sup>x</sup>	汚損 <sup>w</sup>	
2019年	紀州あかね	高接ぎ	10/16	350	5.7	5.3	16.2	0.9	0	0.3	0.1
		苗木(6年生)	10/16	352	5.4	5.0	16.9	0	0	0	0.1
2020年	紀州あかね	高接ぎ	10/26	317	5.2	5.1	16.8	0.1	0	0	0.6
		苗木(7年生)	10/27	342	5.0	5.0	16.8	0	0	0	0.4
2021年	紀州あかね	高接ぎ	10/25	309	5.8	5.6	18.7	0.3	0	0	1.2
		苗木(8年生)	10/18	336	5.8	5.6	19.3	0.4	0.3	0	0.4
2022年	紀州あかね	高接ぎ	10/12	326	5.2	4.9	17.9	0.5	0	0	0.2
		苗木(9年生)	10/12	360	5.1	4.8	17.3	0.1	0	0	0.4
2022年	紀州あかね	高接ぎ	10/19	364	5.3	5.0	18.0	0.2	0.4	0	0.6
		苗木(9年生)	10/19	364	5.3	5.0	18.0	0.2	0.4	0	0.6
	紀州てまり	高接ぎ	11/2	414	5.5	5.3	16.8	0	0	0.1	0.3

z: 果頂裂果 0: なし、1: 微、2: 小、3: 中、4: 大

y: 条紋 0: なし、1: 全体の30%未満、2: 全体の30~70%、3: 全体の70%以上

x: へたすき 0: なし、1: 微、2: 小、3: 大

w: 汚損 0: なし、1: 少、2: 多

## (3) 栽培のポイント

- ①雄花が着生する（写真3）ため、剪定は強めに行い樹勢を維持するよう努める。
- ②夏期に日焼けが発生しやすく（写真4）、収穫期に日焼け部に黒変（雲形状）（写真5）を生じるため、日焼け果が多発するカキ園では植栽を控える。枝が下垂していくため、日焼けしやすい上向き果や横向き果となりやすいので、摘果時に下向き果を残すように努める。また、8月下旬に袋掛けを行うことで黒変発生を軽減できる（写真6、図1）。

③生理落果は少なく、人工受粉や受粉樹の混植は不要である。

⑤シャキシヤキした食感を有するカラーチャート（カキ用（富有用でも可））値 5～6 程度で収穫を行う。



写真3. 雄花の着生



写真4. 日焼け果



写真5. 黒変果  
(日焼け部に生じやすい)



写真6. 袋かけによる黒変果軽減

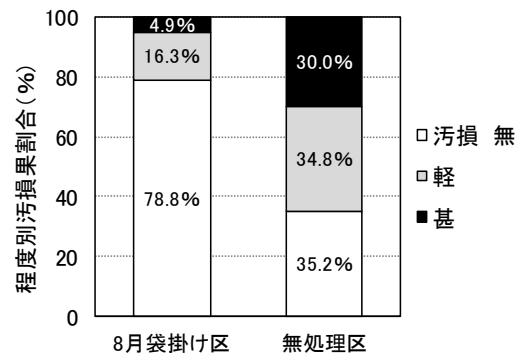
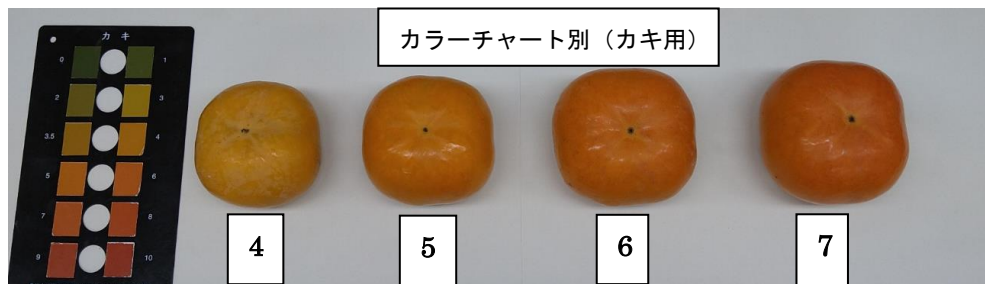


図1. 袋かけによる黒変果軽減効果 (2022)  
8月22日に袋かけ (小林製袋、柿2号)



【時期】 10月上旬 ————— 10月中旬 ————— 10月下旬以降  
 【食感】 強 ←———— シャキシヤキ感 —————→ 弱  
 【果汁】 中 ←———— 果汁量 —————→ 多

図2. カラーチャート別の果実

#### (4) 苗木の定植・高接ぎ

①苗木定植後は、敷きわら等で乾燥防止に努め、降雨がない場合は灌水を実施する。

②高接ぎは、「刀根早生」、「平核無」、「富有」のいずれの台木にも活着するが、接ぎ木部が枝幹害虫の被害を受けやすいため防除に努める。

#### 問合わせ先

本品種について、ご不明な点やより詳細な情報を知りたい方は下記までお問合せください。

和歌山県果樹試験場かき・もも研究所

〒649-6531 紀の川市粉河 3336 TEL : 0736-73-2274